

BCAO 関西支部 第60回勉強会議事録

1. 勉強会概要

(1)日時:2011年11月16日(水)18:40~20:40

(2)場所:大阪ターミナルビル(株)会議室

(3)座長:速水 義一

(4)書記:柳父 行二

(5)出席者:21名(順不同、敬称略)

角、川口、日下、前田、柳父、伊藤、大館、西濱、紅谷、山口、荒仁井、上田、北田、久保田、佐竹、佐原、西野、能任、速水、増穂、鷺山

(6)議題: 1)Osaka Station City 開発経緯

パワーポイントによる紹介

梅田地区乗降客 250 万人/日(国内4位、西日本最大)を JR、阪急阪神、地下鉄でほぼ3等分

北梅田地区の開発方針(地区の目標+都市機能導入+まちづくり)

施設の概要(ノースゲートビル、サウスゲートビル、ドーム)

開発コンセプトは、発見、感動、Osaka Grand Station

まちから駅へ、駅からまちへを、通路広場整備+駅改良+北ビル開発+南ビル増築で実現

広場は、水・緑・時が重なり合う豊かなコミュニケーションを、ECO と情報を加えて演出

ノースゲートの新築建物に百貨店と専門店街等が入居、売り上げに若干差が出ている

サウスゲートは建物を増築し、既テナント百貨店を拡張

駅屋根ドームの雨水を再利用し、地球温暖化対策

2)大阪駅周辺帰宅困難者対策訓練

11月2日に近隣自治体を中心に1077人が参加し、実施した

会場はダイヤモンド地下街、元扇町高校、剣先公園、OAP、大阪駅南ゲート広場に分散

通信訓練や、棧橋まで歩き、船で神戸や枚方に帰宅するなどを体験

むやみに移動しないことが重要である

質問(回答困難なものばかりなので、質問のみ記録)

Q:府と市は仲がよいか ⇒府・市連携して訓練している。

Q:休日の集客施設として、帰宅困難者の収容能力があるか

Q:震災時の避難施設として適当か

Q:商業ビルは避難者を収容できないのではないか

Q:負傷者対策は

3)見学

南ゲートに集まり、通路を歩いてノースゲートビル方面に移動し、待ち合わせスポット、景色のよい場所を中心に見学、「うめきた」開発を展望